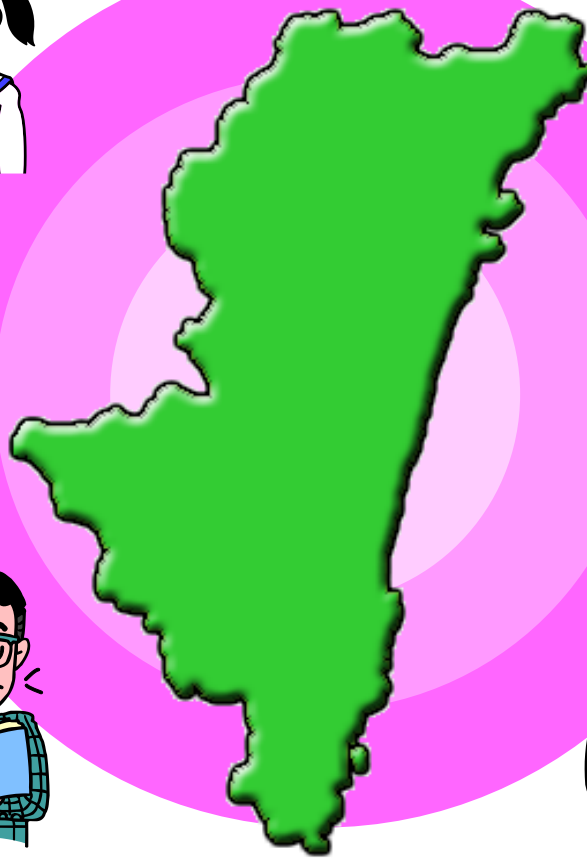


教育課程サポートブック

～中学校編～



はじめに

学校の教育課程は、学校長が示す学校経営ビジョンを受け、各種教育活動の反省や評価、及び、保護者や地域住民等の意見を踏まえた学校評価の結果等をもとに、最終的に学校長が決定し、編成していきます。

この中で、教職員がこの教育課程編成のプロセスにどのように参画していくが重要であると考えます。つまり、教職員一人一人が、児童生徒のよりよい成長を願い、学校や地域の特色を生かし、全教師が一緒になり教育課程を創造していくことが大切であると考えます。

そこで、このサポートブックは、次ページの教育課程の編成モデルに示す職員会議等を活性化するとともに、効果的・実効性のある工夫・改善を進める視点から作成しています。

このサポートブックの作成に当たっては、以下に示す項目について、具体的な調査を通して、県内各小・中学校の実践例を掲載しましたので、各学校の実情等に合わせ、研修等に活用していただけると幸いです。

1 教育課程サポートブック作成の目的

この教育課程サポートブックは、宮崎県における小・中学校の教育課程編成と実施に関して、以下の項目について、その主な実践例と分析をまとめています。

- I 週時程・校時程について
- II 特色ある学習について
- III 特色ある行事について
- IV 地域人材を生かした学習について
- V 小中連携について
- VI 教育課程の編成方法等について

このサポートブックは、これらの項目について、主な実践例を整理することにより、学校長が示す学校経営ビジョンを受け、各学校または地域の実態に合うように、各学校の教育課程の編成において活用してもらうなど、特色ある学校づくりに寄与するとともに、宮崎県全体の教育力向上を目指して作成しました。

【備考】

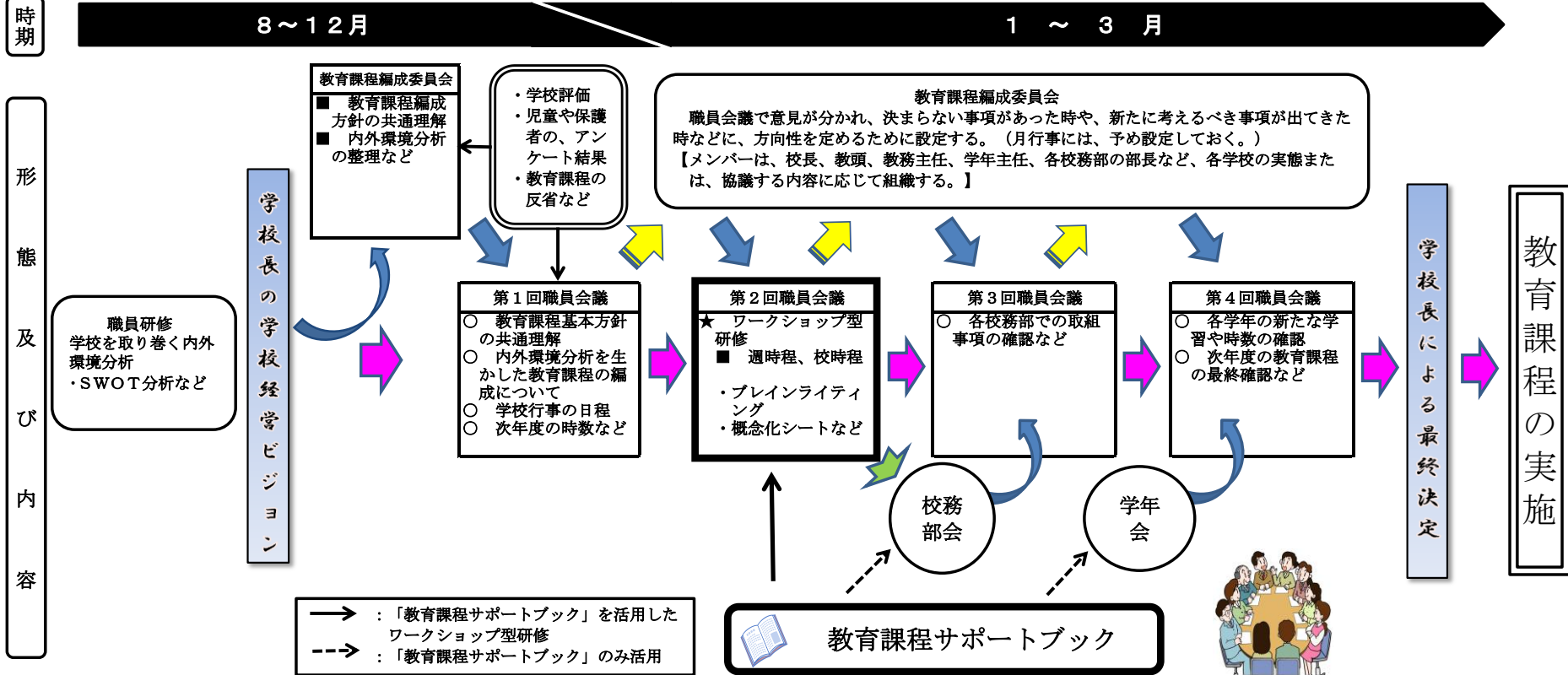
- 各学校から、下記の調査により提出いただいた主な実践例を、ほぼ原文のまま掲載しています。なお、教育課程の編成モデル作成の趣旨により、一部、項目に合わせて、掲載する内容は整理しています。また、このサポートブックの具体的な活用については、研究報告書に示す実践を参照ください。
- 実施学年や時数が分からなかったものは、「－」で表記しています。

2 作成に当たっての調査

- (1) 調査期間 平成23年7月11日～7月25日
- (2) 調査対象 宮崎県内の全小・中学校
小学校247校 中学校134校 計381校
(回収率 約94%)
- (3) 調査方法 質問紙による調査
- (4) 調査機関 宮崎県教育研修センター



「教育課程サポートブック」を活用した教育課程の編成モデル



※1 教育課程サポートブックは、教職員が主体的に教育課程編成に参画していくための手法の一つとして、図中の太枠の部分(職員会議等)での活用を意図し作成しています。

※2 「教育課程サポートブック」を活用した教育課程の編成モデルのポイントは、次の2つです。

POINT1 ワークショップ型研修で、週時程、校時程の改善策を、全教師で検討する。

POINT2 校務部会や学年会で、学校行事や学校の行事、各教科等の学習などを検討する。